

しよかまち

平成5年

3.10

No.437

主な内容

- ▶ごみの減量化・再資源化を
目指して……………P2～5
- ▶5年度水田管農活性化対策……………P6
- ▶市史リポートとおかまち発刊……………P7
- ▶話題アワカルト……………P8～11

発行/十日町市役所
〒948 新潟県十日町市
千歳町3丁目3番地
TEL (0257) 57-3111
編集/総務課文書広報係



「サンヨ」の掛け声がこだま

～ 多聞天裸押合祭り ～



ごみの減量化・再資源化を目指して

|| ごみ指定袋の導入等を第一歩に ||



自分の出すごみに
自覚と責任を

わたしたちの生活は、たいへん便利にますます豊かになってきました。けれども、この快適な毎日が地球環境に大きな負担をかけています。その一つの原因として毎日出されるごみがあります。ごみの問題は、都会の問題として考えられてきましたが、十日町市においても霧谷埋立地・焼却場の施設の延命化、ごみの出し方のルールが守られていないなど、多くの問題を抱えています。今年10月には、低公害の機能を備えた新焼却場が完成します。ごみは一人ひとりの意識を変えてもらうことで解決される問題とも言えます。「捨てればごみ、生かせば資源」といわれているごみ。市では減量化と分別化・再資源化を進めるため、近隣の川西町や津南町で既に実施している、ごみ指定袋の導入や事業系排出ごみ等の有料化、資源ごみの回収について検討しています。そこで、二月に衛生組合長など五百二十八人を対象に、ごみの減量化と分別化等についての意識調査を行いました。今月は調査の結果のお知らせとごみの減量化・再資源化への取り組みの方向を特集しました。

指定袋の導入も必要な時期に



宮入健一さん
(妻有町東1・52歳)
衛生組合長

ごみステーションを管理してみても、時間や指定日を守らない人や燃えるごみと燃えないごみの分別を守らない人がいます。広い道路に面しているため、通勤者が置いているようです。こういうマナーの悪さを解決するためにも、名前を付けるのは疑問がありますが、指定袋の導入も必要な時期かもしれませんね。衛生組合長は、時間外のごみを片付けたり、燃える大きな木材などが出しているとノコギリで切ったり、管理していて苦労もけっこう多いです。ルールを守ってもらいたいですね。

分別を徹底してください



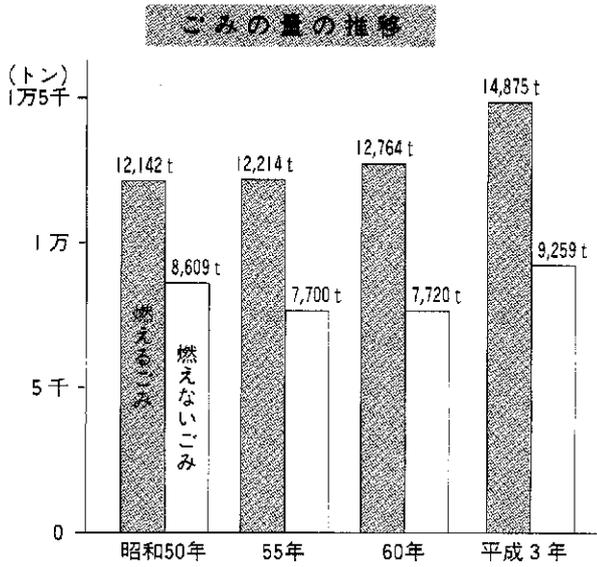
池田正一さん
(猿倉・44歳)
猿倉事業所勤務

ごみ収集の作業をしていて、燃えるごみの中に混入していたスプレー缶からガスが漏れ、収集車内が白い霧状ガスで充満するなど、命の危険を感じることに

ごみの現状は

ルールが守られず 数々の問題が発生

左のグラフは、ごみの量の推移を示したものです。年々ごみの量は増え、平成三年度は二万四千百三十ト、一世帯当たり大人二十五人分の体重に相当する一・六トのごみが出され、経費も二億二千七百万円、一世帯当たり約一万六千円かかりました。これまでごみは、家庭では「不用品なもの、捨てるもの」企業では「できる限り少ない費用で処理するもの」行政においても「燃



焼却場に集められたごみ

やすもの、埋めるもの」という認識で取り扱われてきました。これらが原因で、次のような問題が生じてきました。

① 焼却炉への負担……燃えるごみ、燃えないごみの分別が悪いため炉が故障したり、石油製品が多くなり、有害ガスの発生や炉内が異常に高温となり、維持管理費が増大してきています。

② 霧谷埋立地も限界が間近……燃えないごみと粗大ごみは川西町の霧谷埋立地で処分しています。二十一年間で二十五万三千トが埋め立てられ、年々増えるごみにより埋立残量もあとわずかとなっています。

③ 他町内のステーションに出す……通勤者による他町内へのごみ出しが多くみられ、歩行者のじやまになったり、燃えるごみの日に燃えないごみがあったりと管理している地区の人に迷惑がかかっています。

④ 収集業者が危険な目に……収集車内での火災発生や包丁、カッターなどの刃が入っていて作業員がケガをする事故が起きています。

⑤ 事業系の大量のごみがステーションに……事業所から出る産業廃棄物や商店・飲食店などの営業ごみが大量にステーションに出され、一般の人たちから苦

情が出されています。

このように「ごみは捨てるもの、だれかが片付けてくれるもの」といった意識があり、ごみに対する一人ひとりのマナーが問題となって引き起こっています。

解決方法は

ごみ指定袋の導入も 意識転換の一つ

これらの問題を解決するためには、市民の皆さんや事業者からごみに対する意識を変えていただくことが、最も重要であると考えています。

そこで、ごみの減量化・分別化を進めていくため、ごみ指定袋の導入、事業系の一般廃棄物等(産業廃棄物は対象外)の有料化、資源ごみの回収等を検討しています。

これまでも、PTAや児童会あるいは市内の各種団体等で、廃品回収やリサイクル運動が展開されています。また、平成四年度より市で実施している「空き缶集団回収奨励事業」に小・中学校を中心に十団体が取り組みを行っています。さらに、市では、ごみの減量化のため「家庭用生ごみ処理容器」を斡旋したところ、延べ三、五一〇個(三・

が年に何回もあります。また、小売店に持って行けば、引き取ってくれるビール瓶が、ケースごと置いてある。水の中に浮いているように出されている生ごみ。出す前に缶に穴を開ける、小売店に持って行く、水切りを良くする等、ちょっとした心配りと分別の徹底によって、ごみの量を減らすことができ、安心して作業ができます。

リサイクルは地道な活動から



瀧沢紀春さん (上川町・43歳) 会リーダー「あ・ん」

「あ・ん」の会は、人の命、物の命、地球の命を大切にしたいと思っている女性の集まりです。やむをえず出したごみは、リサイクルさせようと、月に一度「なかまの家」で牛乳パックから紙をすき、毎週火曜日は、公民館で空き缶をつぶすなど、リサイクル活動に取り組んでいます。再生紙の需要が低いなどの問題があります。再生紙をできるだけ使用していただければ、価格も安くなり、資源を無駄にしなくて済みます。一人ひとりの地道な活動が、地球環境を守るのではないかと思っています。

四世帯に一個)普及しています。

このように、ごみの減量化や再資源化に対する意識も高まりつつありますが、この運動を全市的な取り組みに展開するよう働きかけ、「捨てればごみ、生かせば資源」という意識を、市民の皆さんから認識していただくことが必要であると考えています。

「ごみ指定袋」の導入は、燃えるごみと燃えないごみ(危険物の混入防止)の徹底、マイカー通勤者による他町内のごみステーションへの排出防止、ごみの減量化、焼却炉や埋立地の延命化を図ることを目的としています。

事業系の一般廃棄物(産業廃棄物は対象外)については、現在、大量のごみについては、焼却場・埋立地にできるだけ自社搬入が一般廃棄物許可業者に委託搬入していただくよう協力を呼びかけています。事業系の大量のごみのごみステーションに出されると、管理する町内や収集業者に迷惑をかけることとなりますので、今後とも自社搬入(有料化)が許可業者に委託する方法で協力をお願いいたします。

意識調査結果

積極的な減量化・分別化に多くが賛成

市はごみの減量化・分別化等について市民がどのような考え方を持っているかを把握し、ごみ処理問題をどのようにして解決していくかの方策を探るため、左ページのアンケートを実施しました。

ごみの減量化については、生ごみ処理容器等を利用し堆肥に使用している人が59・6%、燃えるごみをドラム缶など簡易な焼却炉で処理している人が61・7%あり、ごみの減量化に努めて



空き缶のリサイクルに取り組む八箇小学校

いる人が半分以上にのぼり、この調査ではごみ減量化の意識が高いことがうかがえます。

また、十人に八人は、リサイクルできるものは学校・PTA等の廃品回収に出しており、リサイクルできるものの回収を望んでいます。アルミ缶・スチール缶などの空き缶回収を望む声が一番高く、新聞・古雑誌、空き瓶、牛乳パックの順になっています。

ごみステーションに他地区の人がごみを置いていく、分別収集が徹底されていないなどの問題を解決していくために、川西町や津南町等で実施している、ごみ指定袋を十日町市でも使用していくことについては67・4%の人が賛成し、30・3%の人が反対しています。反対の意見としては、スーパリーの袋を使用している(四十八人)、肥料袋を使用している(九人)などの理由によるものです。

埋立地や焼却場へごみを持ち込む場合の有料化することについては、事業所など営業活動に伴い出されるごみについては有料でよいが、60・4%。事業所など、一般家庭を問わず有料化でよいが26・2%で事業系ごみの有料化については、両者合わせて

86・6%の人が賛成しています。

これらアンケートの結果から、かなりおおせいの人が、減量化・分別化についての意識が高く、また、ごみのリサイクルを望んでいることがうかがえます。

今後の進め方

市民の理解を得ながら導入を図る

■ごみ指定袋の導入

①住民説明会(地区衛生組合長会議)の開催

②大型店・一般商店へ過剰包装の自粛など協力要請

③低公害のごみ指定袋の研究

■事業系一般廃棄物等(産業廃棄物は対象外)持ち込みごみの有料化の導入

①各種事業所に対する意識調査の実施

②対象事業者の検討

③事業者説明会の開催

■資源ごみ回収の導入

①各種団体への取り組み要請

②モデル地区の設定

以上のように、市民の皆さんや事業者のコンセンサスを得ながら導入を検討してゆきたいと考えています。

総合計画」を策定中です。この計画策定の中で具体的に検討していく予定です。

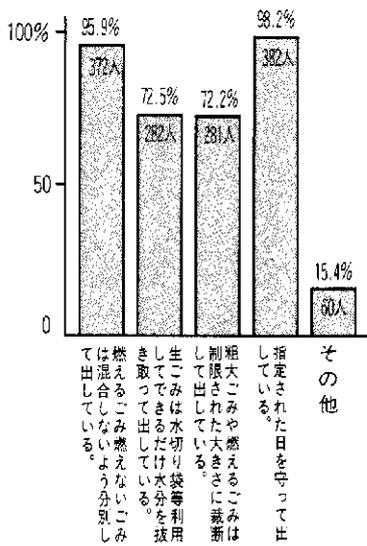
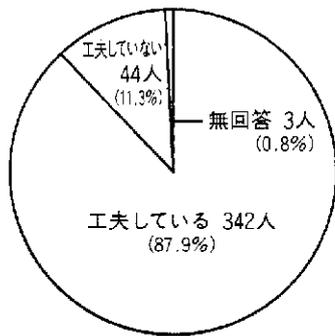
期待できる効果は
自覚と責任を持った「二み出しの実現」

この事業を実施すると次のようなことが期待できます。(1)ごみに対する意識が、「捨てる物」から「生かす物」へと変わり、無責任なごみの出し方が無くなる。(2)燃えるごみ、燃えないごみの分別が徹底され、危険物による火災や施設の損傷、人的被害などが無くなり、収集業務の効率が高まる。(3)ごみの減量化・分別化・再資源化が進むことにより、ごみ焼却場、ごみ埋立地が長く使用できると、ごみ処理経費を安くすることができ。(4)リサイクル運動が活発になり、浪費型からリサイクル型の地域社会を創ることなどが可能となる。など、これらの効果が期待されます。

ごみ指定袋の導入、事業系ごみの有料化、資源ごみの回収等について霧谷埋立地・焼却場の延命化のために具体的に検討していく予定ですので、ご協力をお願いいたします。

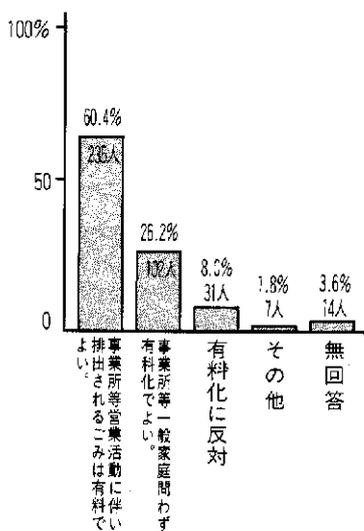
ごみの減量化・分別化意識調査（結果）

問-2 生ごみの焼却にはかなりの燃料や経費がかかります。燃えないごみを処理する糞谷埋立地も限度があります。これに協力するためあなたのご家庭ではごみの減量化に何か工夫していますか。



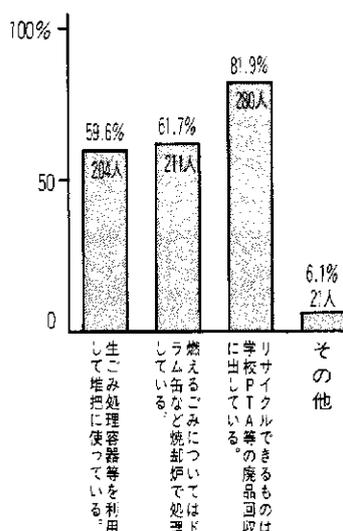
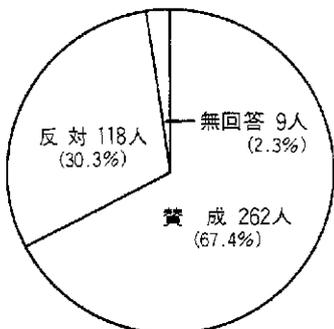
問-1 現在、ごみステーションにおけるごみの収集は、燃えるごみ、燃えないごみ、粗大ごみの3種類に区分して回収しています。あなたのご家庭では「ごみ収集計画表」に基づいて出していますか。

1. 調査目的
この調査は、十日町市保健医療福祉総合計画を策定するにあたって、ごみの減量化・分別化等について一般市民がどのような考え方を持っているかを把握し、計画に反映させることを目的とした。
2. 調査対象
平成4年度地区衛生組合長256名と各行政区(272町内)から1名ずつを無作為抽出
3. 調査方法 郵送
4. 調査期間 2月1日～12日
5. 調査対象者数 528人
6. 回収数(回収率) 389人(73.7%)



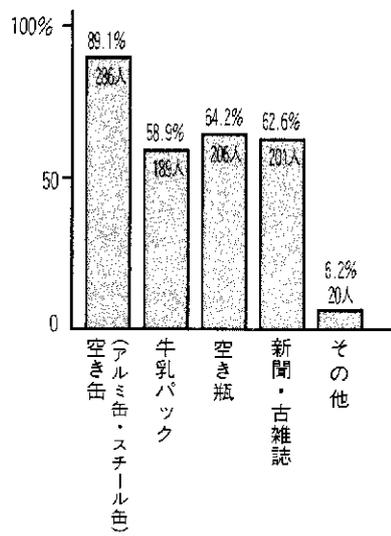
問-4 埋立地や焼却場へごみを持ち込む場合、有料化(ステーションに出す場合は無料)にすることについてどのようにお考えですか。

問-3 町内のごみステーションに他地区の人がごみを置いて困るとの苦情があったり、収集業者からは分別ができていないとの指摘があります。この問題の解消と減量化対策の一つとして川西町や津南町で実施している、指定したごみ袋を当市も使用することについてどのようにお考えですか。



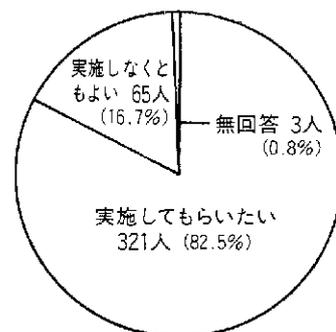
問-2 「工夫している」と回答した方で、次のうちどのようなことを行っていますか。

- 市への要望**
- ①収集業者から、ごみの回収時間を徹底してもらいたい (10人)
 - ②山間地においても冬期間、生ごみの収集を実施してほしい (4人)
 - ③ごみ収集の回数を増やしてほしい (3人)
 - ④日曜日についても焼却場、埋立地を解放してほしい (2人)
 - ⑤乾電池の処理方法を知りたい (3人)
 - ⑥ごみ収集、ごみ処理方法などについてもっと市報等でPRすべきだ (7人)
 - ⑦ごみ集積庫を各町内に設置してほしい (5人)
 - ⑧ごみに対する市民意識を高揚するための行政指導をお願いしたい (3人)
- 要望の中で数の多い例をあげました。



問-5 「実施してもらいたい」と回答された方で、どのような品物を回収してもらいたいと考えられていますか。

問-5 資源には限りがあり、リサイクルできるもの(アルミ缶・牛乳パック等)の回収を実施すべきだとの意見が多くありますが、あなたはどのようにお考えですか。



転作等にご協力ください

前年より310ha減の3108haに

五年度水田営農活性化対策

昭和六十二年度から六年間実施された水田農業確立対策も、今年度全市で一〇・三・二割の達成率をもって終了しました。平成五年度から新たに始まる水田営農活性化対策は、転作目標面積が前年より三〇〇ha減って三〇八〇haとなりました。これは前年度緩和措置を実施したにも関わらず、思ったほど水稲作の復帰がなされなかったために、全国的に保有米・他用途利用米数量が減少したことによるものです。

また、この対策のこれまでの相違点として――
 ①国の転作助成金の一般作物・永年性作物等の基本額が半分に減って十割当たり一律七千円に。
 ②他用途利用米の配分面積が別枠で提示され、未達成の場合はペナルティーを課せる。
 などがあげられます。今年度の転作計画の策定に当たっては、農家組合で十分な話し合いを行い、目標面積達成について特に他用途利用米の全量出荷に向けて、ご協力をお願いします。

他用途利用米の

全量出荷を重点に

市では、他用途利用米の全量出荷対策として、集団転作で他用途利用米の栽培を行う農家に対し、地域間調整等を活用した転作緩和方式を実施します。

この緩和については、転作助成金の補てんを目的としていますので、取り組みができる集落は農林課農業振興係（☎57-3111内線333）まで連絡してください。

■ 国・市の転作助成金

(10a当たり)

区分	基本額 <small>集落の基本額に 転作の補助金を 加算される</small>	国の加算額		市の加算額	
		高収水田営農 推進助成等	地域営農 推進助成		
転作	一般作物	7,000円	33,000円	10,000円	5,000円 (大豆)
	永年性等 作物	27,000	—	10,000	—
	特例作物	4,000	5,000	10,000	5,000 <small>大豆・小麦 トウモロコシ アスパラガス ニンジン</small>
保安全管理	4,000				
通年施行	4,000				1,000

※水田営農活性化対策では、中・山間地域の助成措置として新たに地域集約、複合型転作推進助成の7,000円が加わりました。

■ 転作目標面積

区分	平成5年度 目標面積	(参考)平成4年度 目標面積
内 一般転作	235.39ha	260.94ha
内 他用途利用米	73.22ha	78.28ha
合計	308.61ha	339.22ha

■ 他用途利用米

(単位：30kg/袋)

区分	平成5年度 他用途利用米	(参考)平成4年度 他用途利用米
内 うるち米	10,742袋	11,400袋
内 もち米	1,120袋	1,282袋
合計	11,862袋	12,682袋

4月から国民年金保険料が変更 ～月額、9,700円から10,500円に～

■ 前納を希望する人は

四月から国民年金保険料が、年金受給額の引き上げに伴い、月額九、七〇〇円から一〇、五〇〇円になります。付加保険料は月額四〇〇円が変わりません。

〈前納を希望するお得です〉
 前納をした場合と毎月納めた場合は次のとおりです。

■ 定額保険料の場合
 毎月納付……一、二六、〇〇〇円
 前納……一、二二、九六〇円
 一年間の差額……三、〇四〇円

■ 定額と付加保険料の場合
 毎月納付……一、三〇、八〇〇円
 前納……一、二七、六四〇円
 一年間の差額……三、一六〇円

三月三十日(火)までに市民課年金係へ申し込んでください。(電話でも受け付けます)平成四年度以前から前納している人は、前納扱いになりますので、申し込みは必要ありません。

〈国民年金に加入していますか〉
 二十歳以上六十歳未満の農業や商工業などの自営業者や学生は「第一号被保険者」となり、国民年金に加入して保険料を納めなければなりません。保険料を納めないでいると年金が、減額されたり受けられなくなることがあります。

■ 問い合わせ 市民課年金係（☎57-3111内線14・145）へ。

国民健康保険料申告書の提出 ～所得が基準以下の世帯は保険料が減額～

国民健康保険料を適正に賦課するためには、世帯の所得を把握することが必要です。そのため、国民健康保険に加入している世帯の世帯主は、国民健康保険所得申告書を提出しなければなりません。

また、国民健康保険料には、所得が一定の基準以下の世帯について均等割・平等割の六割または四割を減額する制度があります。しかし、減額は所得を把握しないとできません。

そこで、市がすでに所得を把握した次にあがる人以外の人は、印鑑と収入を証明できるものを持参のうえ、四月十五日(木)までに保健衛生課国保係においでください。申告書は国保係にあります。

◆ 申告書を提出する必要のない人
 ① 所得税の確定申告をした人
 ② 市民税・県民税申告書を提出した人
 ③ 平成四年中の収入が給与収入のみの人

■ 問い合わせ 保健衛生課国保係（☎57-3111内線140・141）へ。

〈保険料が減額される世帯〉

- ◆ 6割軽減対象世帯
 国保加入者の所得の合計額が31万円以下の世帯
- ◆ 4割軽減対象世帯
 国保加入者の所得の合計額が31万円+23万円×(世帯員の数-1)以下の世帯

第11回妻有郷縦断 セーフティー・ラリー

- とき 四月十一日(日) 受付…午前七時三十分～八時十五分
- ところ 川西町総合センター
- 参加費 一台につき一、五〇〇円
- 申し込み 四月五日(月)までに参加費を添えて、田中新聞店(☎52-4591) 高橋商会(☎57-4374) カットサロン2011(☎57-2011) サンスターキ(☎57-0919) みゆき理容所(☎57-3925) 十

万ーに備え スポーツ安全保険に

平成五年度のスポーツ安全保険の受付が始まっています。この保険は、スポーツ・文化・奉仕活動などの際の障害事件や第三者に与えた損害の突然死に見舞金を支払うようにつくられた営利を目的としない補償制度です。五人以上のグループで加入できますので、万ーに備え加入をおすすめします。

■問い合わせ 総合体育館(☎52-4377) へ。

「年間券」で 体力づくりを

- 平成五年度分の申し込みは、四月一日(木)から始めます。
- ①有効期限は平成六年三月三十一日までとなります。
- ②月の途中で申し込んだ場合、残りの日数をひと月に数えます。
- ③シーズンとは、施設開場日から閉場日前日までをいいます。
- ④総合体育館アリーナ、屋内グラウンド、市民体育館については、夜間開放種日のみ使用できます。



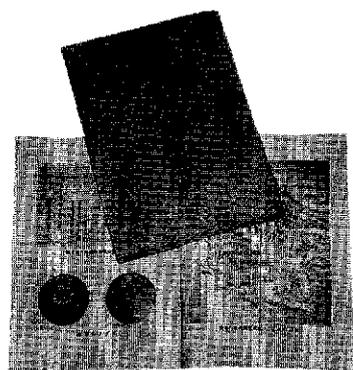
日町地区交通センター(☎57-6005) または市総務課(☎内線217) へ。

区分	スポーツ安全保険(五人以上のグループ・五人以上の家族、または団体のグループ)	老人クラブ(身体障害者・ボウリング・テニス・ゴルフなど)	マタさん(一人の親が複数の子供を養育しているグループ・学校の運動部・社会体育協会)
掛金	400円	600円	1,300円
後遺傷害死亡	最高 2,000万円	最高 500万円	最高 2,000万円
入院	1日につき 4,000円	1日につき 1,800円	1日につき 4,000円
通院	1日につき 1,500円	1日につき 1,000円	1日につき 1,500円
賠償責任保険(補償限度)	対人賠償1人1億円(自己負担1,000円); 対物賠償500万円(自己負担1,000円);		
共済見舞金	突然死および日射病、熱射病による死亡 50万円		

施設名	一般・高校生	中学生以下
(共通)		
総合体育館	4カ月券 1,200円	600円
市民体育館	6カ月券 1,800円	900円
武道館	12カ月券 3,000円	1,500円
庭球場	4カ月券 1,000円	500円
陸上競技場	シーズン券 1,800円	900円

市史リポートとおかまち(第6集)発行

～郷土の歴史を語る～



- ◆ A 5判、260頁 (写真46点、図表39点)
- ◆ 頒布価格 1,030円
- ◆ 販売先 市内の書店
- ◆ 発行 十日町市史編さん委員会

〈内容〉①縄文時代の石製釣り針について(石原正敏) ②中世妻有の禅宗教団(竹内道雄) ③古記録から見た古代中世越後の織物史料(赤沢計真) ④激動と混乱、幕末・一〇年の郷土(須藤重夫) ⑤近世後期の農業技術:六箇徳永家「万日記」を中心に(松永靖太郎) ⑥中条村における、日中・太平洋戦争下の「徴集」と「召集」(田村達夫) ⑦内国勸業博覧会と十日町織物(佐野良吉) ⑧染具服産地への転進(中村宏治) ⑨十日町市の民家から:落之水の斎木家と三ツ山の天津家(津山正幹) ⑩雪中の遊び三題(天野武)

ほか、中学生の市史づくり応募作品十一点が掲載されています。

3・4月は住所異動の時期

～届出はお早目に～

- 転入届 他市の市町村から移ってきたときは、住所の正確な番地を調べて転入をした日から十四日以内に届け出てください。
- ▼持参するもの…印鑑・前住所地の市町村で発行した転出証明書、国民健康保険証(国民健康保険に加入している世帯に転入し、加入する場合) 離職票(離職後転入者のみ)、年金手帳(前住所で国民年金に加入していた人、あるいは会社を退職してきた人)
- 転出届 十日町市から他の市町村へ転出するときは、転出する直前に転出先の住所と転出予定月日を届け出てください。学生の場合も通学できない学校に入ったときは転出届が必要です。また、二十歳以上の学生は新住所地で国民年金加入手続きが必要です。
- ▼持参するもの…印鑑、国民健康保険証(加入者のみ) 印鑑登録証、老人医療費受給者証(交付者のみ)
- 転居届 市内で住所が変わったときは、移ってから十四日以内に手続きをしてください。
- ▼持参するもの…印鑑、国民健康保険証・年金手帳(加入者のみ)
- 問い合わせ 市民課市民係(☎57-3111内線16・14) へ。

奉仕の精神で社会に貢献
～十日町北ロータリークラブ～

二月二十四日(水)、十日町北ロータリークラブ(会長・阿部定一)は、二月二十五日の国際ロータリークラブの創立記念日を前に、心身障害者福祉施設に十五万円相当の備品と、バレーボール協会に婦人バレーボール大会用優勝カップを贈りました。

十日町北ロータリークラブは、昭和四十三年に設立され、今年で二十五年目を迎えた会員五十人の団体です。社会奉仕を目的として、幼稚園・保育園などへの訪問や福祉施設への助成等を行っています。今、社会問題となっている環境問題、骨髄バンクなどの保健医療問題にも会員一同で積極的に取り組んでいます。



川治小学校の子供たちが飛ばした150個の風船

「雪まつりメッセージ」が
三国山脈を越えて栃木県と茨城県に
～川治小学校へ届いた4通のホットな手紙～

二月十九日(金)夜、雪まつりの開会式で川治小学校の児童百五十名が飛ばしたとどけぼくらの雪まつりメッセージの風船が栃木県と茨城県に舞い落ち、早速返事が川治小学校に届きました。

北西風に乗って飛んだ百五十個の風船はどこへ。子供たちは返事を心待ちにしていたところ、橋本あさみさんと桑原俊典くんの風船が栃木県真岡市のゴルフ場に、庭野まさきくんのは茨城県大洗町の原子力研究所の近くに、小林富洋くんのが同県水戸市の近くの内原町に届きました。水戸市の前野奈津子さんから「水戸の梅まつりに来てね。」と返事が書かれ、ホットな交流が実現しました。

話題アライカルト



阿部会長(写真左)より関口市民部長に目録が手渡されました

わたしたちの
学校自慢

48
東下組小学校

松原道子 校長
児童数：26人



水落美和子 さん
(5年)

児童会

英会話教室

「ハローエブリバデイ ハウドウユードウ」
「アイムファイン」
「OK/グッドウ」

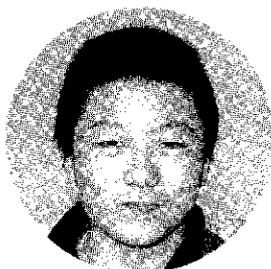
月に二回の英会話教室の日です。一年生から六年生まで、みんながとても楽しみにしています。

講師の先生は、市役所に勤められている樋口潤子さんです。長くアメリカに留学されていたそう、わたしたちが普段使っている英語とは、全く違う発音でした。

最初はみんなとまどっていました。最近では英語の歌を口ずさんだり、あいさつを交わしたりと英会話を楽しんでいます。家へ帰



Let's sing a song!



水落秀徳くん
(5年)

児童会

夏休み交流学習

ぼくたちの東下組小学校で一番



ファミコンよりおもしろいぞ。将来の一流棋士を目指して

みんないきいき。 サークル交流録 PART 24

子ども囲碁サークル

囲碁は頭を使う知的なスポーツ

昨年9月から、月1回の学校週5日制がスタートしましたが、児童生徒の学校外活動を援助する事業の一環として、市の社会教育課の主催で「子ども囲碁サークル」が誕生しました。

現在、子ども囲碁サークルには、十日町小学校と西小学校の児童を中心に、10人が囲碁を楽しんでいます。指導ボランティアには、公民館本館利用団体の日本棋院十日町支部から3人が専任で当たり、毎月第2・4土曜日の午後公民館本館で活動しています。

囲碁は難しいゲームと思われがちですが、ルールは極めて簡単で子どもでも手軽に楽しむことができます。子どもは、30分ルールを説明しただけで初回からすぐに囲碁を打ち始めたほどです。しかし、囲碁は限り無く奥が深く不思議なゲームですから、本当に面白くなるには、覚えてから1年位かかります。

囲碁のランクは、アマチュアですと30級から始まり7段まであります。1年間でおおよそ20級から15級くらいになるのが目標。もちろん、子どもの自主性を尊重し、礼儀作法を守ることには主眼をおいています。今のところは、低学年の子が多いために、時間の大半を遊び回りマナーにはほど遠い状態ですが、知的なスポーツをいつまでも楽しんでもらえればと思っています。



囲碁を打つ手つきはほんもの

このコーナーは、運動や文化、芸能などを楽しんでいるサークル、クラブなどを紹介するコーナーです。このコーナーで自分たちの頑張っている姿をアピールしてみませんか。

総務課文書広報係
(☎57-3111 内線214)



活発な討論に耳を傾ける参加者

みんなでつくる十日町 市民の手による初の講演会 ～昭和町2・3丁目街づくり検討委員会～

三月五日(金)午後七時から、十日町商工会議所で「まちづくり講演会」が行われ、百人が参加しました。この企画は、昭和町二・三丁目街づくり検討委員会(会長・森本忠彦)が、みんなで参加する街づくりとリゾートの母都市づくりを考えていくために開催したものです。

参加者は、山本康雄氏(鹿島建設機動務)の「リゾート時代に向けた母都市づくり」の基調講演、高田町二丁目と昭和町二・三丁目の事例発表、手塚清光氏(県都市計画課副参事)、瀬下敬志(市建設部長)、今井紀雄氏(商工会議所商業部会総務委員長)などによるパネルディスカッションに熱心に耳を傾けていました。

盛り上がる児童会行事が、夏休みに行われる交流学習です。

柏崎の海辺の学校の高浜小学校の高学年と、東下組の全校生徒とで毎年楽しく行われます。

一年毎に、お互いの学校を訪れます。今年は、高浜の友達がやってきました。一泊二日のキャンプの年です。

出会った時の緊張も、ローラースケートをするころには、全く失くなっていました。しかし、おからの台風で天候が悪化してしまいう学校で泊まることになりました。キャンドルサービスやウォークラリーを楽しみ、あつという間に二日間が過ぎてしまいました。伝統あるこの交流を、これからもぜひ続けていきたいと思っています。



あれ? 全校児童が2倍だぞ?



根津千寿子さん

(南
新田町3・23歳)
南
ガトータカダヤ勤務

中 学生のころからお菓子作りに興味があって、高校生時代はよく友達とこの店にケーキを食べに来ました。製菓の専門学校を卒業して、新潟市内のケーキ屋に勤めUターンして3年目。念願のこの店に就職できました。わたしの作ったケーキを食べてもらい「おいしいよ」と言われたときが最高の喜び。この一言が何よりの励みになります。

休 日はたまに家で、砂糖やクリームなどの量や泡立て方を工夫し、見た目も良く、食べてもおいしいケーキに挑戦しています。夢はウェディングケーキを作ること。自分の性格は気が短いので、おらかな男性が理想です。

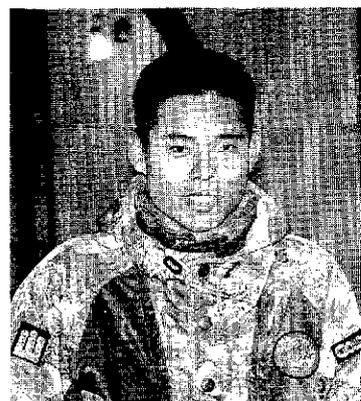
+ 日町には、じょんのびに自分のペースで生活している気持ちのおだやかな人が、おおぜい住んでいて、十日町に帰って良かったと思っています。この町でケーキ作りをいつまでも続けたいと思っています。

青春エンジンヨイ

明日の十日町を担う若者登場コーナーです。このコーナーに登場する人を募集しています。個人・会
社
の
推
せ
ん
で
も
か
ま
い
ま
せ
ん。
■連絡先 総務課文書広報係

風間芳信さん

(株)
サンライフ上越国際C.C.
十日町コース勤務
春日町3・27歳



画 親の希望でUターンして2年目。神奈川県でICの製造工場に勤めていました。Uターンして良かったことは、友人が温かく迎えてくれたこと。Uターンした同級生がおおぜいいますよ。ゴルフ場があり、スキー場・海にも近い十日町の魅力を再発見したんじゃないかなあとと思っています。

仕 事は、ゴルフ場のフロント係。リーフレットを持って群馬など県外のゴルフ練習場に営業に行くことも年3~5回あります。クローズしている今は、上越国際当間スキー場に向向しています。心がけていることは、笑顔を忘れずにお客様から気持ち良くプレーをしてもらうことです。

入 ポーツはゴルフとスキー。本格的にゴルフを始めたのは入社してから。休日は、友人といっしょにゴルフかスキーを楽しんでいます。ゴルフは、老若男女を問わずにできるスポーツで、ゴルフ人口もますます増えると思っています。

わたしのふるさととは、東京都大田区蒲田です。近くには東京の空の玄関口羽田空港があり、数分さみで飛行機が離着陸しています。わたしの家は、昭和十八年頃まで第一京浜道路の近くで、おじいさんの代から「八代屋運送店」を営んでいました。運送店といってもわたしの子供の頃は、今のよう
に自転車配達ができるわけではなく、荷車を引いて運ぶのですからとても大変でした。
わたしも小荷物を持たされよく手伝いをさせられたものですが、配達先で「お駄賃」をもらったときのうれしさは、今も忘れられません。また、当時近所の友達と将来は陸軍大臣になるのを夢みて、戦争ごっこにあけくれている頃をなつかしく思い出します。
終戦を小笠原の父島で知り、復員してからは蒲田の近くの矢口に約四十年ほど住んでいましたが、

思い出のふるさと No.36



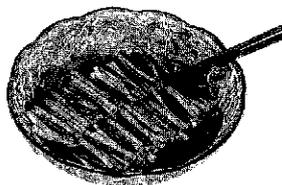
八代保二さん
(丸山町・76歳)

出身地 東京都大田区蒲田

平成元年に縁あって妻のふるさと十日町に引越してきました。
以前勤務の関係で鹿渡発電所や奥只見ダムの建設資材を車で東京から運んだこともあって、少しはこちらの地域は知っていました。雑踏の都会を脱出して雪国十日町に住んでなにより、空気のきれいなこと、水がおいしく、コジヒカリがうまうま、人情温かなこんな十日町はほんとうに素晴らしい町だと思います。今はおおぜいの仲間もでき、詩吟やゲートボールを楽しんでいる毎日です。



わが家味 72



〈材料〉

わらび(塩漬けしたもの)…600
 ㊄、酢…大さじ5
 つけ汁 { 酒…100cc
 みりん…50cc
 しょうゆ…100cc
 砂糖…40㊄



堀 ハルさん
 (上新田3・61歳)
 ☎55-2382

わらびの酢の物

歯ごたえがいいんです。シヨキシヨキして色もよく、とても好評です。酢をかけたあと、つけ汁の熱いのをかけることが、色と歯ごたえをよくするコツです。味のしみたころ、おろししょうがや、からしをつけてもおおいしく、

はしが進みます。一度お試しください。わらびは三回ほど塩で漬けて直しをすると、においもつかず保存できます。

〈作り方〉①塩漬けしておいたわらびを、沸騰した多めのお湯でさつとゆで、三・四回ほど水を替えて塩抜きをする。

②塩抜きしたわらびは五センチくらいの長さに切って器に並べ入れ、酢をさつとかけておく。

③調味料を合わせてつけ汁を作り煮立てる。沸騰させて熱いのをわらびにかける。

④三時間ほどそのままにしておく。味がしみ込み食べられる。

大きくなあれ 99

(27カ月)

柳 笑里菜ちゃん
 正明・えみ子さん長女
 (高島2)

「セーラームーン」の絵本をお母さんに読んでもらうときが一番楽しいの。くつ下も自分ではけるし、お風呂から出て着替えるときだつてちよつと時間がかかるけど一人でできるのよ。

大井田保育園 99

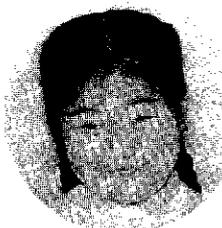
お父さんと野球の練習を毎日、夜やっているんだ。大きくなつたら野球の選手になりたいな。

白川 和博くん
 (6歳)



わたしがなわとびをしていて、この年の雪が溶えると一年生になるのよ。学校でもがんばるわ。

高橋亜紗美ちゃん
 (6歳)



じょうずに遊んだネ!

昔と今



高橋チヨさん
 (高山二 78歳)

池之尻で生まれ、どこにも出たことがなく、ここに嫁に来たことぐらいです。家中で百姓して、わたしは冬は手織りをしました。子供のころの一番の思い出は、小学校三年の四月初め、学校へ行くとき近道しようと上級生に手を引かれて板の橋を渡り始めたが、いまちつとというとき揺れて二人で川へ落ちてしまつて。上級生は下の木につかまつてすぐ助けられたが、わたしは隣りの村まで流された。なんとか村の人に助けてもらった。そんときの気持ちは生きたくて。心持もなかった。朝げで水が澄んでいたのが良かったんだと。

嫁に来て次の年、夫が戦地に行き、二・三日戻ったこともあったが足かけ八年留守だった。百姓仕事もけつこうあったども、義父母や孫ばあさんがいたんでわたしは助かつたんぞ。

昔から高山でここは十五夜祭(九月十五日)が一番の楽しみだったんぞ。役者がかつらをかぶつて芝居してたんで本当におもしろかつた。そのころ祭りというとお客の呼びつくらして、当日はお客に見せて、次の日は村の衆が見せてもらったんぞ。弁当をござしよつてみんなで見に行つた。今はまた、体協の衆が一生懸命やってくれるんで八幡様はおおぜいの人でいっぺだぜの。

足腰がまめなんで、毎年「敬老号」であつちこつち連れていつてもらつています。おとし金婚式をしてもらつたり、息子夫婦と孫二人に囲まれて、わたしら夫婦共とても幸せです。何よりもおじいさんとずーと一緒になりたいと思つています。

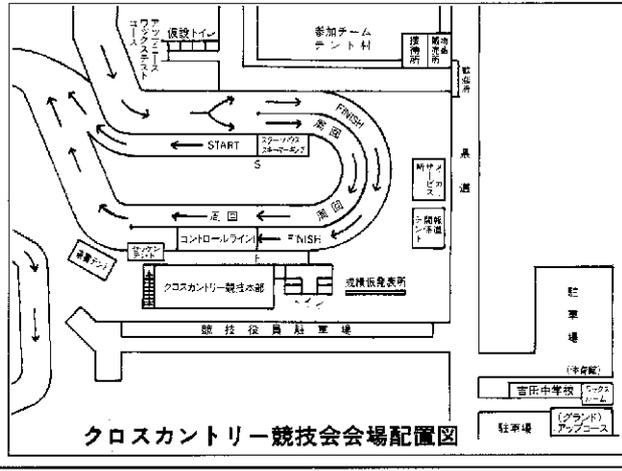
全国ジュニアオリンピック競技会 兼全日本ジュニアスキー選手権大会

～地元十日町勢の活躍にご声援を～

- ◆とき 3月22日(月)・23日(火)・24日(水)
- ◆ところ 吉田クロスカントリースキーコース



- 競技日程 —
- ◆22日(月) 午後4時～
開会式(クロス10)
 - ◆23日(火) クラシカル走法
午前10時：男子10km
午後1時：女子5km
 - ◆24日(水) フリー走法
午前9時30分：男子10km
午前11時30分：女子5km
午後1時：コンパインド
10km(グンダーセン方式)



戦後強制抑留者の の皆さんへ

請求期限 3月31日

戦後、旧ソ連邦またはモンゴルの地域に強制抑留された人やその遺族に、書状・銀杯を贈呈しています。これらの人々のうち、年金恩給や公務員の共済年金などを受給されていない人には、併せて慰労金10万円が支給されます。まだ請求されていない人は、3月31日までに請求ください。

■問い合わせ 平和祈念事業特別基金(東京都文京区大塚 ☎03-3945 4703)または社会福祉事務所援護係(☎内線 ☎)へ。

公営住宅入居者募集

■八幡田市営住宅(中層耐火4階建)

■募集 1戸(6畳2室、5畳1室、DK)

■家賃 29,400円

■申し込み 3月23日(火)までに建設課建築住宅係(☎内線 ☎)へ。

クロス10「物産ホール」 3月31日休店

クロス10では、3月31日(水)棚卸のため「物産ホール」「喫茶コーナー」を休店いたします。

第6回信濃川 河岸段丘ウォーク

◆とき 4月29日(水)(雨天決行)

■参加資格 健康な人(小学生以下は保護者同伴)

■コース Aコース52km・津南町役場：午前6時出発 Bコース42km・田沢小学校：午前7時出発 Cコース25km・川西町総合体育館出発：午前10時 ファミリーコース12km・小千谷市民体育館出発：午前10時

■ゴール 小千谷サンプラザ

■申し込み 4月15日(水)までに、総合体育館または市観光協会(☎57-3345)へ。

可能性、無限大！ 青年学級生募集

- ◆期間 平成5年4月～平成6年3月
毎週木曜日午後7時～9時30分(専門講師が指導)
- ◆経費 ◎受講料=年500円 自治会費=年2,000円
◎教材費=実費自己負担
- ◆問い合わせ 十日町市民館(☎57-5011)へ。

コース	内容
食べもの	料理を作りながら、健康を守る食生活を考えましょう。
焼物	手づくりの器で、潤いのある暮らしを見つけましょう。
シネマ&ビジュアル	ビデオの撮影・編集等の技術を学びましょう。
郷土文化研究	十日町の歴史や文化を知りましょう。
美術	水彩画や油絵、イラストを学びましょう。
情報処理基礎	基礎から情報処理機器を学習しましょう。
旅のプラン	自分の手で企画立案し行動してみましょう。
遊びの探究	方法、道具をしらべ新しい遊びを考えましょう。
全体学習会(特別講座)	みんなでテーマを決めて、みんなで楽しく学ぶコミュニケーションタイムです。
自治会活動	学級生全員で組織し、スポーツ・キャンプ・公民館まつり・雪像づくり等の活動を行います。

「御陣荘」の使用料と休日の変更

津南町芦ヶ崎にある総合福祉センター「御陣荘」の使用料が、4月1日から変更になります。左表の使用料のほか各室使用料も改定されます。また、休日も今まで毎週月曜日から毎週水曜日となります。今後とも、健康づくりや憩いの場としてご利用ください。

休日：毎週水曜日

区分	休日	
	一日	半日
70歳以上及び身体障害者手帳所持者	410円	260円
大人(中学生以上)	620円	410円
子供(3歳未満除く)	410円	260円
	160円	260円
	210円	310円
	100円	210円
	100円	100円
		50円

(注) 小休日は、2時間以内の利用の場合に適用する。団体(10人以上)は2割引とし、料金の10円未満は切り捨てる。休業の場合は、各室使用料は徴収しない。

3月 交通安全キャンペーン

交通安全のアップに努めましょう

交通安全の原点は家庭にあります。家族みんなが交通事故を起こさない、被害にあわないように、日頃から話し合ひましょう。



2月中の交通事故発生状況 ()は累計

市 町 村	発生件数	負傷者数	死者数	
十日町市	平成5年	15(24)	16(26)	0(0)
	平成4年	8(13)	8(13)	0(0)
川西町 西南町 津南里	平成5年	7(15)	7(20)	1(1)
	平成4年	1(13)	1(16)	0(0)
計	平成5年	22(39)	23(46)	1(1)
	平成4年	9(26)	9(29)	0(0)

信号を見落とし 出会い頭に衝突

2月4日(休)午前8時30分ごろ
下川原町のマンパ前の交差点で、信号を見落とし交差点に進入した48歳の男性が運転するワゴン車と青信号で発進した44歳の女性が運転する軽乗用車が出会い頭に衝突し、女性が重傷を負いました。運転者は前方をよく見て運転しましょう。



とおがまちの自然

(理科センター)

アオサギ ⑫



湖沼や川などの水辺には、1年中住み、日本に住むサギ類のなかでは最も大型の種類です。

オス、メスとも同じ色をしていて、背巾の方は灰色で腹の方は白く、首には黒い斑点がたてに並んでいます。目の上から頭の後ろまで黒い太線があり、夏には頭から黒い冠羽が2本垂れ下がります。

水の中をゆっくり歩いたり、じっと立ち止まって餌を探ります。餌は魚、ザリガニ、カエルなどが主ですが、メスミヤ昆虫類も食べます。

春季 小児マヒ(ポリオ) 生ワクチン投与

■受付時間：1時45分～2時10分
■会場：保健センター

地 区	期 日
十日町、新座、大井田、中条	4月6日(火)
川治、下条、水沢、六箇、吉田	4月7日(水)

▶問診票は中条、吉田、水沢の各地区公民館にも用意してあります。

■該当する子 1回目：平成4年7月1日～12月31日の間に生まれた乳児 2回目：平成4年1月1日～平成4年6月30日の間に生まれた乳幼児 その他：投与日に4歳未満で、まだ2回受けていない幼児

■投与の方法 6週間以上の間隔

で2回します。都合により間隔が離れた場合でも2回受けてください。

■投与を受けられない子 ①発熱していたり、著しい栄養障害のある乳幼児②過去1年以内にけいれん症状を起こした乳幼児③下痢をしている乳幼児④三種混合、二種混合の予防接種を受けて1週間たない幼児

■投与前の注意 ①お子さんの健康状態をよく知っていて、問診票の記入ができる人が連れてきてください。都合のつかないときは、あらかじめ問診票を保健衛生課に取り寄してください。

②投与前は、健康管理に十分注意してください。③投与日は、朝と昼の体温を計ってきてください。④風邪などで投与を受けるのが不安なときは、主治医と相談してきてください。

「栄養教室」 受講生募集

食事は健康づくりの源、仲間と共に楽しく食生活について見直す機会になります。自分の健康・家族の健康に興味のある人、栄養教室を受講してみませんか。10回程度の講習を受け教室終了後、地域活動に参加していただきます。

■とき 春から12月まで月1回程度で約10回行います。

酒害の懇談会

■とき 3月19日(金)午後1時30分～3時

■ところ 十日町保健所

■申し込み 十日町保健所(☎57-2400)または、保健衛生課保健衛生係へ予約ください。

■心の健康相談

■とき 3月26日(金)午後1時30分～3時

第6回市民音楽祭

■ところ 十日町保健所

■担当 江口医師(上村病院)

■申し込み 十日町保健所または保健衛生課保健衛生係へ。

■とき 3月28日(日) 開場：午後1時 開演：午後1時30分

■ところ 十日町市市民会館

■入場料 500円(中学生以下無料)

■出演団体 十日町絃会(大正琴)、十日町ギターアンサンブル、十日町市民合唱団、十日町アマチュアバンド協会、十日町市民吹奏楽団

〈特別出演〉當重あかねさん

■問い合わせ 十日町市公民館(☎57-5011)へ。

history

ふる里の歴史散歩

雛祭りとお山遊び (市史編さん室)

三月三日は雛祭り、女の子のお節句です。十日町地方では昭和三、四十年ころまでは月遅れで四月三日に行われていました。近年はすっかり新暦三月に定着するようになりました。

雛飾りは、平安時代の宮廷・貴族間ではじまり、江戸時代中ごろから江戸の武士・町民の間で流行するようになった風俗でした。したがって、地方にこれが広まったのはずっと後のこと。村々を回って雛飾りのことをお年寄りに尋ねても「おらのころはなかったぜの」という返事がほとんどです。

十日町地方、特に中条から下条にかけて、華やかな雛祭りとお節句を異にする三月節句の行事がみられたものです。

三日の節句に、子供たちは誘い合って重箱につめたスシやモチを持ち、鎮守の境内や黒土が出だした日当たりの良い小山などに行ってお馳走(ちせう)を食べ、楽しく遊び過ごしてきます。これを「山遊びにいく」「節句にい

く」といっています。

節句の山遊びは十日町地方だけでなく、全国各地でもみられています。冬の間、山に帰っていた(農耕)作神さんを、春が近づいてきたのでお馳走を持ってお迎えに行くという古い信仰にもとづくもので、雛の節句は、その大切な折目の日、祭り日だったのでではないかといわれています。

節句にはまた、ヨメ、ムコが菱モチなどを持ってヨメの実家に泊りにいく「節句泊り」「カクセツ泊り」の風習が、以前はよくみられたものです。



山遊び (昭和30年・中条)

ひと

第48回国体冬季スキー競技会 成年女子2部(フリースキ)で優勝



阿部 淑恵 さん
(稲荷町4・25歳)

36

鳥取県大山町で開かれた国体冬季スキー競技会に出場した阿部さんは、二月十七日に行われた成年女子二部五クラシカルで、二位に44秒の大差をつけて初優勝に輝きました。国体出場は高校三年生以来二回目。「久しぶりの大会で緊張しましたが、スタート後はワックスもよく合

い冷静に走れました」と笑顔で喜びを語ってくれました。

阿部さんのスキー歴は、西小學校三年生の時にクロカンスキーを始め以来一筋。南中時代は全中リレー優勝メンバーとして活躍し、十日町高校二年生の時インターハイ入賞と全国の上位にランクされてきました。卒業後、教員の夢を抱いて日本体

育大学に進学し、インカレ四位を最高に常時入賞を果してきました。教員の道は断念しましたが、親の願いもあって地元に戻り、十日町検診センターに就職して三年目。「会社や同僚の温かい支援のおかげです」と話す阿部さんは、会社を早退して吉田クロカンコースで中・高校生と一緒に練習し大会に備え、夏場にも陸トレで鍛えてきたことが、実を結びました。

「次の目標はジュニアオリンピックが終わってから」と、休日返上で練習や大会役員として頑張っています。市内で数少ないクロカン社会人女子選手として、再び全国制覇を目指して頑張れ阿部選手。

市の動き

(2月末日現在)

■人	□ 46,148人
	(前月比-6)
男	22,734人
	(〃 -6)
女	23,414人
	(〃 ±0)
■世帯数	12,644
	(〃 -3)

今月の表紙

三月三日(昨夜、伝統の多聞天裸押合祭りが来迎寺で行われました。底冷えのする境内では、子供も大人もまかれる福札を奪い取ろうと激しいもみ合いを繰り返す「サンヨ、サンヨ」の掛け声が響いていました。今年も無火災を祈願して、消防署職員によるパレンが奉納され祭りに華を添えていました。

編集後記

通勤途中、ごみステーションの写真を撮ろうとカメラを向けていたところ、車から降りた女性が、カメラに気付き、手に黒いビニール袋を持ったまま背を向け立ち止まっていました。ごみ収集車に乗し作業風景を取材中、「いつもおじさんありがと」と保育園児の声。「よし、頑張るぞ」と作業員の独り言。ごみは、量を出しただけ減らし、ルールを守って出したいものですね。